

☆- 同じようで違う空間を目指して -

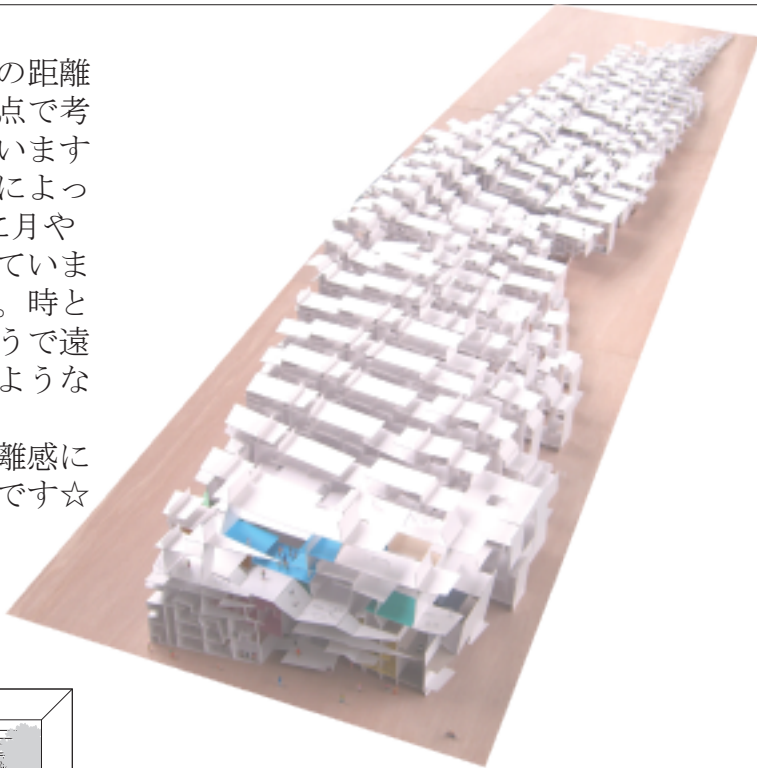
曾我部研究室 杉山聖昇

研究概要：☆を建築物として表現する。

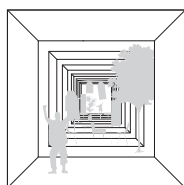
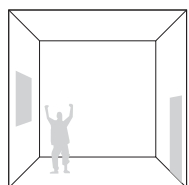
研究目的：好きなものを建築として表したい。

研究成果：ぼくは☆が好きです。

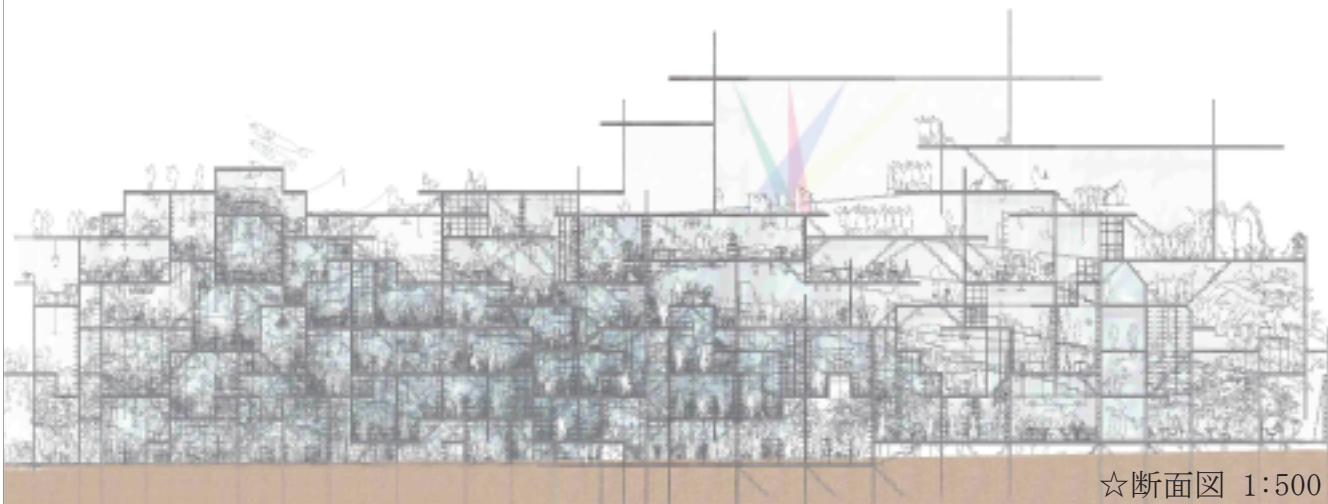
ぼくと☆の間には何光年もの距離があります。でも大きな視点で考えると僕と☆はつながっています。見えるというつながり方によって。☆は朝昼夕に太陽、夜に月やその他の☆たちとつながっています。春夏秋冬、雲、雨、雪。時と場によって変化する近いようで遠いような、遠いようで近いような距離感が生まれます。そんな時と場によって、距離感に変化が生まれる建築の提案です☆



壁で区切られる建築



変化する物によって空間相互の
関係性を保ちながら区切られる建築



☆断面図 1:500

苦労した点や感想など：☆